

## 安倍政権の暴走を許さず、労働組合らしく闘おう！ 2014年度組合員セミナー開催

JR東海労は11月16～17日、熱海市のホテルで2014年度組合員セミナーを開催しました。セミナーには65名の組合員が参加しました。



主催者を代表し、淵上委員長は「松崎さんがつくってきた労働運動の質を継承するために、職場からの闘いを積み重ねよう」と訴えました。

講演は、初日にJR総連榎本書記長より「JR総連の当面する課題」について、2日目にジャーナリスト・斉藤貴男さんより「安倍政権の暴走と原発・リニア」について、それぞれ受けました。榎本書記長は「現

政権はあと2年だが、安倍首相は解散して4年間でやりたいことをやる狙いがあるのではないか。『JR総連＝殺人集団』発言はその表れである」と訴えました。斉藤さんは「国策としてのインフラ輸出は原発とリニアはセットであり、赤字だろうが何だろうが、国内で原発もリニアも動かさなければ国のメンツがなくなる」と、アベノミクスの狙いを説明しました。

各地方からは、新幹線地本山口組織部長から「ボーナスカット攻撃粉碎労働審判の闘い」、静岡地本山本委員長から「静岡地本の秋の闘い」、名古屋地本吉田組織部長から「労働審判で勝ち取るもの」、新幹線関西地本畑野書記長から「秋の闘いについて」と題した報告がされました。

全体討論では、積極的に発言が相次ぎ、議論が盛り上がりました。最後に、木下副委員長の団結ガンバローでセミナーは成功裡に終了しました。



斉藤貴男さん



JR総連榎本書記長